

令和7年度公益社団法人

筑西市シルバー人材センター事業報告

1. まえがき

令和7年度の我が国経済は、各国の通商政策等の影響により不確実性が大きかったものの穏やかな回復が見られました。しかしながら、個人消費は物価高の影響により力強さを欠いた状態が続き、景気の回復力は弱い状態が続きました。また、中小企業にとっては、春季労使交渉において賃上げが33年ぶりの高水準となった昨年をさらに上回り、2年連続で5%超の水準となったことや、設備投資は過去最高の水準になるなど、『賃上げと投資がけん引する成長型経済』へと移行できるか否かの分岐点にあり、GDP成長率は実質で1.2%程度、名目で2.7%程度、消費者物価は2.0%程度の上昇率になると見込まれています。

当センターの事業運営については、ここ近年、昨今の適正就業の推進から、高年齢者には適さない業務の終了、請負では困難な公共施設管理等を派遣契約に移行いたしました。その結果、請負契約額が減少し、派遣契約額の増加傾向が続き、7年度につきましても、同様の状況となりました。

このような状況の中、シルバー人材センター事業は、「高年齢者雇用対策事業」の中の重要な施策のひとつとして位置づけられ、少子化及び団塊世代の退職等による労働力人口の大幅な減少が見込まれるなか、その受け皿として果たす役割はますます大きく、社会を支える担い手として活躍することの重要性が増大しております。事業実施にあたるセンターは、高齢者の多様な社会参加の推進団体として、体制整備や健全かつ効率的な事業運営、自己収入の拡大などによる自立的な運営基盤の確立を図ることが求められています。

これらのことから、事業の継続に尽力し安定的雇用の確保や新規事業の開拓による就業機会の拡大に努めることで、増加しつつある団塊世代等に対応する受入体制の確保を図るとともに、会員の安心安全な就業のため、安全就業パトロールを実施し作業中の事故防止に努めました。さらには、茨城県シルバー人材センター連合会と共催で「清掃スタッフ講習会」を開催するなど、会員の技能の向上や安全・適正就業の向上に取り組んできました。

また、会員拡大については、ホームページや市の広報誌への広告掲載による新規会員加入PR活動を実施いたしましたが、再雇用や定年延長等の影響による入会者の減少と入会者数を上回る退会者の増加により、目標値に及びませんでした。

2. 公益目的事業の実施状況

(1) 就業の開拓・提供事業

シルバー人材センター事業の自立推進のため、会員の就業機会の拡充のため、筑西市内事業所等に対して、シルバー事業案内の発送や対面での就業開拓を図ってまいりました。

また、新たな就業要望に幅広く対応する手段として、労働者派遣事業を更に推進し、「請負・委任契約」では対応することができない職種の開拓や提供、受注等の拡大を図ってまいりました。

(2) 調査研究事業

安全・適正な就業のための調査や新たな就業職種分野の調査等については、全国シルバー人材センター事業協会や茨城県シルバー人材センター連合会からの広域的で多種多様な提供情報や研修会への参加等を通じ、課題や先進事例などの情報を把握したうえで実施し、就業機会の拡大や就業の質の向上に努めてまいりました。

(3) 相談事業

入会を希望する高齢者に対し、毎月2回、第2・第4水曜日に入会説明会を開催し、その中で、センター業務の役割や就業システムについてビデオ等を使い、分かりやすい説明を行うことで会員数の増加に努めてまいりました。

また、会員の仕事上での悩み事や心配事などの相談に対応し、トラブル等の解消に努めてまいりました。

(4) 研修・講習事業

茨城県シルバー人材センター連合会との共催で「清掃スタッフ講習」を開催するほか、筑西市外で開催される講習会情報を発信し、参加を促すことで、会員の知識・技能の向上を図ってまいりました。

「令和7年度 筑西市シルバー人材センター開催の研修・講習事業実施一覧」

期 間	事 業 名	事業 日数	受講 者数	内 容	場 所
7/15～ 16日	清掃スタッフ 講習会	2日	4名	講師2名 ・ 清掃の目的と作業者の心得 ・ 廃棄物の処理 ・ トイレ、洗面台、窓ガラス、 テーブル、階段の清掃 ・ 洗剤の使い方 ・ カーペットのシミ取り	筑西市シルバー 人材センター

(5) 普及啓発事業

広く地域住民の方々にセンターの基本理念、就業内容等について理解と協力を得ると共に、高齢者の就業機会の拡充が図れるよう、地域イベント等に参加してリーフレット等を配布するほか、当センターのホームページや市の広報誌「ピープル」、市の就労支援サイト「ワークステーションちくせい」で情報を発信する等、普及啓発運動に努めてまいりました。

(6) 安全・適正就業対策事業

安全就業委員会を中心に、7月に刈払作業現場、10月に剪定作業現場において安全就業パトロールを実施いたしました。また、会報「シルバーだより」でパトロール結果、夏の熱中症対策、発生した事故情報等を掲載し、注意喚起に努めてまいりました。

適正就業対策については、モラルやマナーの遵守、各種規程等を遵守した適正就業について、必要の都度、是正や再発防止を図ることでお客様との信頼関係の構築に努めてまいりました。

3. 独自事業について

ワークプラザの管理運営については、館内清掃の徹底、窓口対応時の態度の向上など、利用者が利用しやすい環境づくりに努めてまいりました。

「令和7年度 ワークプラザの利用状況（利用回数）」

研修室1	研修室2	会議室	談話室	多目的ホール
33回	240回	76回	15回	69回

4. 目標値の達成について

(1) 令和7年度 目標値と実績値（請負事業＋労働者派遣事業）

項 目	目 標 値	実 績 値
会 員 数	550 人	428 人
年 間 就 業 率	90.0%	86.9%
受 注 金 額	360,000,000 円	263,060,324 円

会員数は昨年度より5名減少し、目標値に達することができませんでした。

年間就業率については、86.9%（請負契約261人＋派遣契約111人）で目標値を3.1%下回りました。

受注金額は、2億6,306万円（請負1億8,551万円、派遣7,755万円）で、目標値に達することができませんでした。

(2) 令和7年度 請負事業実績（受注区分別）

区 分	受 注 件 数		受 注 金 額	
	件数（件）	構成率（%）	金額（円）	構成率（%）
公 共	168	5.49	63,581,840	34.27
民 間 企 業	411	13.44	51,788,414	27.92
一 般 家 庭	2,479	81.04	69,497,366	37.46
独 自 事 業	1	0.03	647,200	0.35
合 計	3,059	100.00	185,514,820	100.00

会員数の減少に伴い、公共、民間企業、一般家庭及び独自事業の全てで受注金額が減少しております。

(3) 令和7年度 労働者派遣事業実績

受注件数(件)	就業実人員(人)	就業延人員(人)	受注金額(円)
133	111	12,893	77,545,504

新規派遣先の拡大及び既存派遣先との契約の拡大等に努めてまいりました。
受注件数、就業実人員、就業延人員、受注金額の全てが増加しております。

(4) 令和7年度 傷害・賠償事故発生状況

発生件数(件)			発生状況(件)		
傷害事故	賠償事故	計	就業中	経路途中	計
9	10	19	19	0	19

『事故ゼロ』を目標にしておりましたが、傷害事故9件と賠償事故10件が発生してしまいました。前年度は傷害事故3件、賠償事故4件でしたので、事故発生件数が大きく増加しています。今後も安全パトロール等の活動を通じ、事故の防止を図ってまいります。

主な発生事故内容は次のとおりです。

- 傷害事故 転倒、梯子からの落下、作業機械の刃と人体の接触
- 賠償事故 刈払機による飛び石、刈払機の刃の接触

5. 運営体制の充実を図るための取組

- ・個人情報保護に関する規程を運用し、多くの個人情報を扱う組織としてリスク管理をしています。
- ・外部機関による会計監査を受け、適切な運営を図っています。

6. 事業報告の付属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、作成しておりません。